

2003年7月15日

発行 三重県立小児心療センター ^{こども} あすなる学園 広報担当
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL. 059-234-8700 FAX. 059-234-9361

あすなるだよりによせて

園長 西田 寿美

毎年4月はじめ、あすなる学園診療本館前では6本の桜の木がみごとな花を咲かせます。この桜はこころの医療センターが高茶屋病院と呼ばれていた頃、その広大な敷地の外周に植えられていたものです。病院の建替にともないこころの医療センターの古い桜はほとんど切られてしまい、あすなるに残った桜が往時の美しさを思い出させてくれます。

桜の花の見頃はほんの1週間ぐらいですが、その後の花びらのじゅうたん、若葉、夏の緑と木陰、秋の紅葉、落ち葉、冬枯れの木立、四季おりおりの姿に心うばわれ疲れが癒されます。外来の子ども達がセミの幼虫やぬげがらに目を輝かせ、汗をかきながらセミをとる姿も楽しいものです。

今年1月、三重県に自閉症・発達障害支援センターが認可され、4月から本格的な支援事業を開始しました。あすなる学園は昭和37年の産声の年から自閉症を中心にその医療を発展させてきたといっても過言ではありません。創設者の十亀先生は、自閉症児・者の生活を「生きること」「愛すること」「働くこと」に収斂され、隣人としてともに歩む姿勢を大切にされました。自閉症センターの目指す使命はまさにそういった生活を支援することにあると考えています。小さな一歩かもしれませんが、大いなる前進の機動力として機能することを願っております。そういった意味でも、センターが付置されたあすなる学園は重要な

使命を担っており、ランチ施設のれんげの里やあさけ学園と協働してセンターを充実させていかなばならないと決意しております。

今年にあすなる学園が独立して18年目を迎えます。清水将之前園長のもと10周年誌を編集、記念シンポジウムを開催したのがはるか昔のように思えます。

この間、北川前知事のもと三重県は大きな改革の時代を迎え、あすなる学園も将来構想をまとめ、時代にあった組織改革を行ってきました。子どもを取り巻く時代の大きな変化に迅速に対応する組織であることが「こども臨床」の場であるあすなるには求められていると考え、職員一同力を合わせ皆様のニーズに応えていくつもりです。

組織は共通の理念を共有する時、その力をいく倍にも発揮するものです。新年にあたってあすなる学園の治療理念を4つのスローガンにまとめました。この土台となっているものは、1985年7月に十亀先生が最後に残された文章です。この中で、チーム医療と民主的相互関係に支えられた組織的治療 (Administrative therapy) と家族治療 (Family therapy) の重要性が説かれ、相互理解 (Communication)、創造 (Creation)、貢献 (Contribution) の3Cを重視することが記されてありました。その趣旨を以下のような4つのスローガンで表現してみました。

1. 子どもを中心とする医療
2. 時代のニーズに応える専門医療
3. 子どもの健康な力を育む専門医療
4. 専門性を互いに学び合うチーム医療

本年度もよろしくお願いいたします。